

# 令和6年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立桶川東中学校

## はじめにお読みください。

＜調査の結果をご覧になる方へ＞

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っており



ます。

今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一侧面であることをご理解ください。

## ＜全国学力・学習状況調査の概要＞

※「令和6年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

### 1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象

中学校第3学年、原則として全生徒

### 3 調査実施日

令和6年4月18日(木)

#### 4 調査の内容

(国語、数学) 教科に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校調査は、国語、数学とする。</li> <li>出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。           <ul style="list-style-type: none"> <li>① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等</li> <li>② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容</li> </ul> </li> <li>調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。</li> </ul>	
	<p><b>【中学校 国語・数学 各50分】</b></p>	
生活習慣や学習環境等 に関する質問紙調査	<p>児童生徒に対する調査</p> <p>学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など</p> <p>【20分程度】</p>	<p>学校に対する調査</p> <p>指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など</p>

### 本校の調査結果の概況

#### 中学校

<教科に関する調査>

■は全国平均正答率を上回ったもの



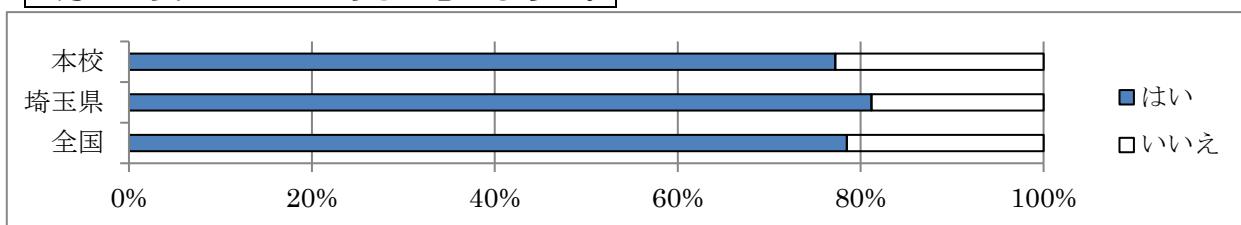
国語					学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
言葉の特徴や使い方に觸る事項	3	67.2	59.7	59.2	話すこと・聞くこと	3	64.1	60.5	58.8
情報の扱い方に関する事項	2	60.2	60.2	59.6	書くこと	2	77.3	66.8	65.3
我が国の言語文化に関する事項	1	80.5	75.2	75.6	読むこと	4	54.7	49.2	47.9

数学				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と式	5	56.7	51.1	51.1
図形	3	44.0	42.4	40.3
関数	4	68.9	61.1	60.7
データの活用	4	61.1	57.1	55.5

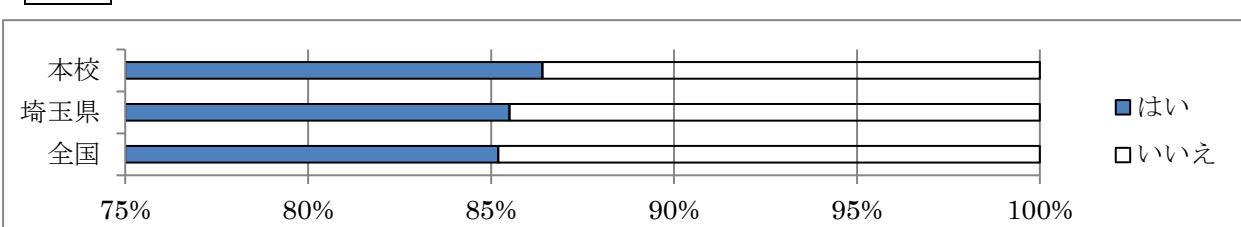
## ＜生徒への質問紙調査＞（主なものをグラフで表示）

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う  
いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

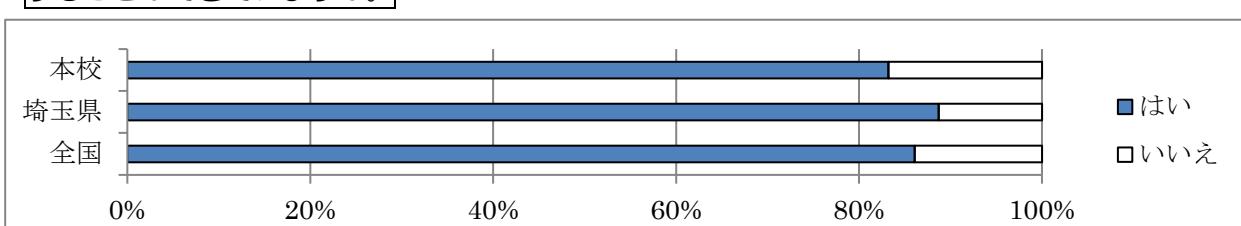
自分には良いところがあると思いますか。



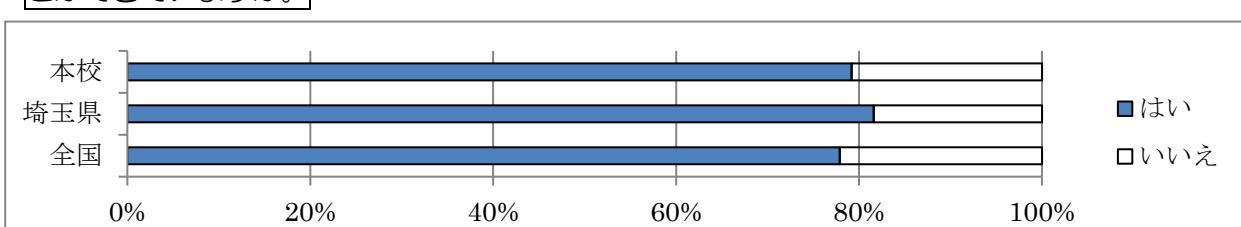
1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のこととはあなたにどれくらい当てはまりますか。（7）友達と協力しながら学習を進めることができます。



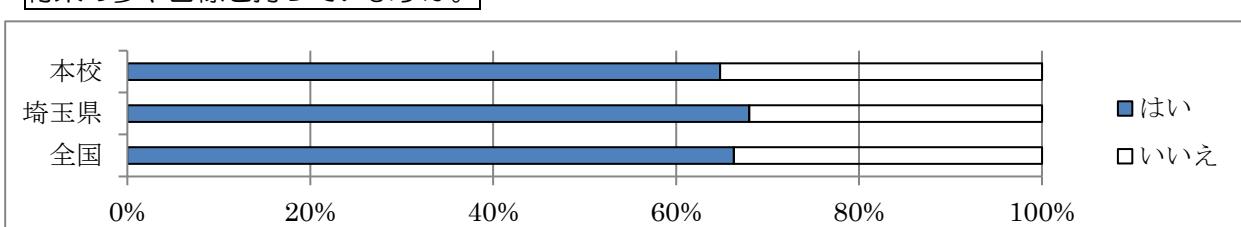
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気づいたりすることができていますか。



学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



将来の夢や目標を持っていますか。



## 本校の調査結果の分析・考察

### 〈国語〉

#### 【領域別】

- すべての項目で、県平均正答率、全国平均正答率と同じか、上回る結果となった。
- 領域別では以上の結果となったが、問題別では、15問中2問が県平均正答率、全国平均正答率をやや下回る結果となっている。
- すべての項目で、県平均無回答率、全国平均無回答率を下回る結果となった。

#### 【問題（例）】

問題 3四 佐藤さんは、【物語の下書き】の□の部分で、【ノートの一部】の④の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。

イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

#### 正答例

ア (あの日から数日が過ぎた。) 窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。

イ 「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。

	<正答率>	<無回答率>
本校	66.4%	7.0%
埼玉県	51.4%	13.1%
全国	49.3%	15.0%

#### 【効果があった取組】

- 生徒が取り組んだ課題に対する評価。
- 工夫して文章を書く機会を増やし、ポイントの確認を行う。
- 初発の感想を含む、毎時の授業感想シート記入。
- 書くことが苦手な生徒には、スマールステップでの対応。

#### 【問題（例）】

問題 1二 【話し合いの一部】の一線部②「〈図〉のこのあたりにいるような感覚ですね。について、〈図〉の中で、藤田さんが指示していると考えられる部分を○で囲みなさい。

問題 2二 一線部①と一線部②の関係を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4の中から一つ選びなさい。

#### 問題1二

	<正答率>	<無回答率>
本校	69.5%	1.6%
埼玉県	70.0%	3.5%
全国	68.5%	3.5%

#### 問題2二

	<正答率>	<無回答率>
本校	75.0%	0.0%
埼玉県	76.4%	0.4%
全国	75.2%	0.6%

#### 【課題】

- 読み取った情報の整理。
- 資料を用いての説明をする力。

#### 【課題の解決策】

- 発表、話し合い活動の取り組みの強化。
- 表や資料を用いての学習の機会を充実させる。
- 言語活動の充実を図り、授業を展開していく。

## <数学>

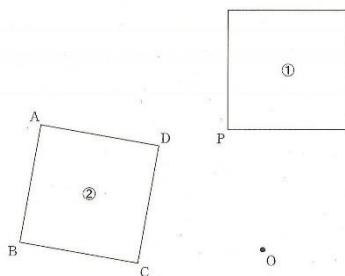
### 【領域別】

平均正答率が「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域で、全国・埼玉県の平均正答率の両方を超えた。

### 【問題（例）】

#### 問題例③ 図形の移動

次の図で、正方形②は、正方形①を中心として反時計回りに  $80^\circ$  だけ回転移動したもので、正方形①の頂点Pに対する正方形②の頂点を求めなさい。



<正答> 頂点C

#### <正答率>

全国	68.3%	全国	0.3%
埼玉県	69.5%	埼玉県	0.2%
本校	64.8%	本校	0.0%

全国・埼玉県の正答率を下回っており、図形の回転移動について、移動前と移動後の二つの図形の頂点の対応を読み取ることができなかつたと考えられる。

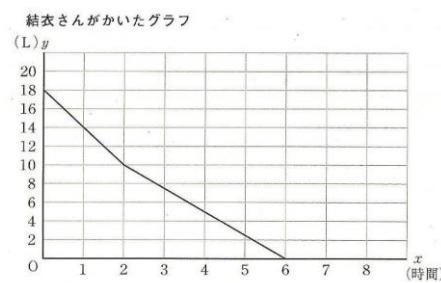
#### <無解答率>

全国	0.3%
埼玉県	0.2%
本校	0.0%

### 【問題（例）】

#### 問題例⑧ (3) 一次関数

ストーブを6時間使用して、18Lの灯油をちょうど使い切るよう、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考え、使用計画を立てます。そこで、結衣さんは、ストーブの使用時間と灯油の残量のグラフをもとに、次のようなグラフをかきました。



はじめに設定を「ア」にしてイ時間使用し、その後、設定を「ウ」にしてからエ時間使用する。

<正答> ア強 イ2 ウ弱 エ4

#### <正答率>

全国	76.9%	全国	3.8%
埼玉県	77.3%	埼玉県	3.5%
本校	86.7%	本校	3.1%

全国・埼玉県の正答率を大きく上回っており、グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができていると考えられる。

- 「図形」の問題3では、全国・埼玉県の平均正答率は下回った。また、問題形式が記述式では、平均正答率が3割を下回る問題も見られた。

### 【効果があったこれまでの取組】

- 3つの学び（「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」）を授業時にはたらきかけ、3つの学びを意識した授業展開に努めている。
- 学力に二極化に対応するために、授業プリントを作成し、授業のねらいや流れが明確になるように努めている。

### 【課題】

- 「図形」の習熟度がやや低い。
- 与えられた情報を読み取り、数学的に表現したことを事象に即して解釈すること、数学的な結果を事象に即して解釈すること、問題解決の方法を数学的に説明することが苦手である。

### 【課題の解決策】

- 学習内容の系統性・関連性を伝えることで、知識・技能がつながるように指導していく。
- 日々の授業から3つの学びを意識させ、思考を具現化させたり、途中式・問題解決過程をまとめるように授業を展開していく。

## ＜質問紙調査から＞

### 【(6)】

1. 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

当てはまる・どちらかといえば当てはまる

69.7% 57.8% 55.0%

桶川東中 埼玉県 全国

この項目に関して、本校の生徒は全国や埼玉県の数値より顕著に高い結果となりました。1学年の時から、課題解決的な学習を各教科で取り入れて、指導してきた成果ではないかと考えます。定期テストへの取組について、計画を作成させるなど継続した指導の成果ともいえるのではないかと考えます。さらに、定期テスト後の取組状況を振り返る機会を設定して、一人一人の取組が向上するように努めてまいります。

### 【()】

1. 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

当てはまる・どちらかといえば当てはまる

77.6% 71.8% 64.8%

桶川東中 埼玉県 全国

この項目に関して、全国、埼玉県の数値よりも高い結果となりました。今後も、課題解決に向けた学習を充実させるとともに、生徒の発表の機会を設けることで、さらに豊かに表現できる力が向上するように努めてまいります。

# ＜埼玉県学力・学習状況調査の概要＞

※「令和6年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

## 1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウインドウを開きます）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

## 2 調査対象

中学校第1・2・3学年 原則として全生徒

## 3 調査実施日

令和6年5月9日（木）

## 4 調査の内容

### （1）教科に関する調査

中学校第1学年 国語、数学 第2学年、第3学年 国語、数学、英語

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

### （2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

## 本校の調査結果の概況

＜教科に関する調査＞ ■ は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた生徒の割合…前年度から学力が伸びた生徒の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第1学年			第2学年			第3学年		
教科の領域等	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
言葉の特徴や使い方	14	63.3	60.5	13	66.1	67.6	12	70.1	67.5
情報の扱い方、我が国の言語文化	4	79.8	74.0	8	43.7	43.7	7	75.7	69.5
話すこと・聞くこと・書くこと	4	63.0	58.9	3	72.3	72.4	6	62.7	55.4
読むこと	8	58.7	52.3	7	60.4	60.7	8	77.3	70.4
※学力の伸びた児童の割合	△△	↑↑	↑↑	△△	↑↑	↑↑	△△	↑↑↑↑	↑↑↑

数学	第1学年			第2学年			第3学年		
教科の領域等	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
1年数と計算 2, 3年数と式	11	65.0	61.0	14	52.9	53.7	11	70.2	66.1
図形	11	59.2	54.4	8	34.5	33.3	8	69.7	59.3
1年変化と関係 2, 3年関数	7	58.2	51.4	6	57.7	57.6	7	65.8	57.0
データの活用	4	38.4	34.1	5	57.3	49.3	7	47.3	42.3
※学力の伸びた児童の割合	△△	↑↑	↑↑	△△	↑↑↑↑↑	↑↑↑↑	△△	↑↑	↑

英語	第2学年			第3学年		
教科の領域等	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
聞くこと	10	82.3	81.1	10	62.6	59.9
読むこと	18	62.0	58.0	18	61.2	54.0
話すこと	2	42.6	37.0	2	55.6	45.5
書くこと	6	54.1	49.8	6	57.1	50.7
※学力の伸びた生徒の割合					↑↑↑↑	↑↑↑↑

### ＜生徒への質問紙調査＞（主な結果：「規律ある態度」に関する項目の結果）

※ 達成率：「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段：県の達成率、下段：本校の達成率、  
は80%以上 (%)

内容	項目	第1学年	第2学年	第3学年
○ けじめある生活ができる	1 時刻を守る			
	① 登校時刻	98.0 <b>98.6</b>	96.6 <b>95.1</b>	95.9 <b>96.8</b>
	② 授業の開始時刻	96.0 <b>98.6</b>	96.7 <b>96.5</b>	97.1 <b>97.6</b>
	2 身の回りの整理整頓をする			
	③ 靴そろえ	88.7 <b>93.0</b>	89.9 <b>86.7</b>	92.5 <b>91.2</b>
	④ 整理整頓	75.2 <b>74.0</b>	78.0 <b>76.7</b>	80.2 <b>73.6</b>
	3 進んであいさつや返事をする			
	⑤ あいさつ	84.7 <b>83.1</b>	83.0 <b>83.1</b>	85.3 <b>80.8</b>
	⑥ 返事	91.4 <b>90.9</b>	91.6 <b>92.2</b>	93.2 <b>96.8</b>
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける			
○ 礼儀正しく人と接することができる	⑦ 適切な言葉づかい	90.2 <b>93.7</b>	91.2 <b>88.7</b>	93.4 <b>97.6</b>
	⑧ やさしい言葉づかい	89.6 <b>92.2</b>	88.2 <b>83.8</b>	91.4 <b>96.4</b>
	5 学習のきまりを守る			
	⑨ 学習準備	91.6 <b>93.0</b>	91.7 <b>90.9</b>	93.9 <b>96.0</b>
	⑩ 話を聞き発表する	79.4 <b>89.4</b>	79.1 <b>77.5</b>	82.1 <b>86.4</b>
	6 生活のきまりを守る			
	⑪ 集団の場での態度	93.6 <b>97.2</b>	94.7 <b>93.0</b>	96.3 <b>96.0</b>
	⑫ 掃除・美化活動	88.0 <b>85.9</b>	87.5 <b>79.6</b>	89.1 <b>87.2</b>

## 本校の学力向上の取組

※各校が調査結果を分析し、成果を上げたと考えられる取組（☆）と、課題を解決するための取組（■）について、「授業における取組」、「授業以外の取組」等の方策を掲載する。

- ・成果を上げたと考えられる取組
- ・課題解決に向けた取組（今後考えられる取組内容）
- ・授業での取組、授業以外での取組
- ・グラフや図、写真などを取入れて視覚的に訴える
- ・家庭での取組へのお願い 等

### 授業における取組

#### 1 個別指導の徹底

- ☆ (1) チームティーチングや個別指導などきめ細やかな指導をしています。
- ☆ (2) 単元毎や授業毎に学習内容の振り返り活動を設定し、基礎基本の定着を図っています。
- (3) 評価と指導の一体化を図り、生徒一人一人の達成度に合わせた指導、助言をします。

#### 2 言語活動の充実

- ☆ (1) 全ての教科において、少人数やペア、グループ活動を取り入れ、様々な形態での話し合い活動を行い、意見交換する時間を確保し、伝える力・表現する力の育成に努めています。
- ☆ (2) 各教室にモニターを設置し、授業の中で、生徒たちが、「考える」「考えを書く」「話し合う」「まとめる」「発表する」時間の可視化を図り、生徒の主体的でけじめある活動を推進しています。

#### 3 学習に対する態度の育成

- (1) 学習意欲を高め、学び合う態度の育成のため、ＩＣＴ端末や電子黒板などＩＣＴ機器を活用した授業など、探究心を湧き立たせるような教材や指導を行っています。
- (2) 授業の展開の中に、意図的・計画的に言語活動を充実させる場面を設定し、生徒の思考力・判断力・表現力の高揚を図ります。

### 授業以外の取組

#### 1 棟充学習や朝の小テストの推進、よい良い学習環境づくり

- ☆ (1) 授業規律を明確化し、「授業の約束」「発言の仕方」を教員・生徒の共通の目標として日々取り組んでいます。
- (2) 定期テスト前に質問の機会を設けたり、長期休業中に課題を提示し、休業明けに確認テストを行ったりするなど、補充学習の充実を図っています。
- ☆ (3) 学校生活の様々な場面で意欲を高め、心豊かで自己有用感を持つ生徒の育成を目指しています。生徒の作品の展示や各行事への取組を表す掲示物の充実を図り、より多くの生徒の成果・努力を表彰する教育活動を推進しています。
- ☆ (4) 読書を奨励し、本に親しみ、落ち着きがあり潤いのある学校生活の充実を図っています。
- ☆ (5) 生活ノートへの教員によるコメントを通じて、適切な助言や励ましを行うことで、生徒の自尊感情の高揚に努めています。

## 2 家庭学習の習慣化

■ (1) 新入生保護者説明会、各学年の保護者会、三者面談等において、本校の教育活動への連携を図ります。

### ★…成果を上げたと考えられる取組

### ■…課題を解決するための取組

#### 本校の学力向上プラン

桶川市立桶川東中学校 学力向上プラン				
○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法等関係法規 ○学習指導要領 ○埼玉県教育課程編成要領 ○埼玉県教育振興基本計画 ○指導の重点・努力点（県教委） ○桶川市教育委員会の重点施策 ○指導の重点・努力点（市教委）	<p><b>【学校教育目標】</b>  <b>【学校経営方針】</b></p> <p>○ 学校教育目標が学年・学級経営に具現化され、授業をはじめとする全ての教育活動に生かす。  ○ 全教職員が意欲的に経営・運営に参画し、叡智を結集し、学校の機能を最大限に発揮させる。  ○ 人間関係を大切にし、互いの信頼のもと協力し合い、協働の精神で教育活動を遂行する。</p>	<p>○生徒の実態 ○保護者の願い ○教職員の願い ○地域の実態・要望 ○社会情勢の変化 ○学力向上に係る 「学校課題」</p>		
【令和6年度の経営方針の重点】 <p>「生徒のよさを伸ばし、みんなで協働してよりよい校風を創造する」</p> <p>○ 生徒のよさを引き出し、伸ばす教育を推進し、互いを認め合う集団に育てる。  ○ 生徒の学校への愛校心を高め、伝統を引き継ぎ、よりよい校風を創造する態度を育てる。  ○ 保護者や地域と連携を強化し、協働して生徒の健全育成を推進する。</p>	<p><b>【本年度の重点・努力点】</b></p> <p>① 生徒のよさを引き出し、伸ばす学年経営・学年経営に努める。  ② 誰かな学力をつけため、生徒が主体的に取り組む授業の展開に努める。  ③ 生徒理解に基づく教育相談及び生徒指導の組織的な対応の強化に努める。  ④ 全ての教育活動を通して心豊かな生徒の育成に努める。  ⑤ 体力の向上と健康・安全教育の推進に努める。</p> <p>⑥ 社会的ニーズを踏まえ、人権教育の一層の充実に努める。  ⑦ 特別支援教育の一層の充実に努める。  ⑧ 生徒にとって学びやすい環境の一層の充実と環境教育の推進に努める。  ⑨ 情報教育、国際理解教育、福祉教育の充実に努める。  ⑩ 研究活動の充実を図り、学校図書館の積極的な活用に努める。  ⑪ 保護者・地域との連携を推進し、開かれた学校の実現に努める。</p>			
各教科の指導の重点 <p>○基礎的・基本的内容の指導の徹底 (少人数授業や小集団による学習など) ○生徒の学ぶ意欲を高める指導方法の工夫 (体験的な学習や問題解決的な学習等) ○評価の客観性・信頼性を高める評価研究の充実</p> <p>【国語】  ○表現力（「書く」「話す」）の育成 ○思考力（「読む」「聞く」）の育成 ○学習形態、教材開発の工夫 ○学習意欲を喚起する授業展開と、活動場面の効果的な設定</p> <p>【社会】  ○学習形態、課題設定の工夫 ○社会的事象を身近にとらえさせ、日常的な出来事から興味・関心を引き出し、意欲を喚起する工夫</p> <p>【数学】  ○学習意欲を引き出す授業展開、教材開発の工夫 ○学習形態（少人数、T T指導）の工夫 ○個々に応じた指導・評価の工夫</p> <p>【理科】  ○主体的活動を促す指導・評価方法の工夫 ○理科室の整備・環境作りの推進</p> <p>【英語】  ○基本的な語彙や文型の定着 ○「話す」「書く」に対する関心を高める工夫</p>	<p><b>【本校の課題（学力向上に関する）】</b></p> <p>○ 充実感・達成感を得た経験が少なく、自分の良さを見いだす自己肯定感や、自信をもって豊かに表現し発表することに課題がある。</p> <p>1 主題的・対話的で深い学びの実現 2 生徒一人一人の自己肯定感・自己有用感の向上 3 豊かなコミュニケーションや表現活動の充実</p> <p>①課題を改善するための計画 ・全職員の共通理解と協働 ・保護者・地域への連携強化 面談、学校だより、H P等 ・学校課題研究の推進計画策定</p> <p>②計画に基づく授業等の実践 ・各教科における授業の実践 ・校内研修の充実 ・小学校等他校との連携 ・保護者・地域との連携強化</p> <p><b>【計画する】 Plan → 【実践する】 Do</b></p> <p>↑ P D C Aサイクルをいかした課題の改善 ↓</p> <p>【改善する】 Action ← → 【検証する】 Check</p> <p>④課題の絞り込み ・次年度の教育計画、各種全体計画・年間指導計画への反映 ・学力向上プランの見直し ・校内組織体制の見直し</p> <p>③実態の把握 ・各種調査や学校生活アンケート等による生徒の実態・変容の把握 ・学校評価による本校教育活動の成果と課題の確認</p> <p>⑤課題を把握する指導の設定 ・「埼玉県学力・学習状況調査」（国語、数学、英語、質問紙） ・「全国学力・学習状況調査」（国語、数学、英語、質問紙） ・定期テスト ・南部校長会テスト ・確認テスト ・学校課題研究における各教科の現状分析</p>	<p><b>各領域等の目標及び内容</b></p> <p>【総合的な学習の時間】  ○自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成 ○自己の生き方を考えることができる力の育成</p> <p>【テーマ】  1年「桶川再発見」、「福祉」 2年「桶川の産業に学ぶ」 「国際理解・古都に学ぶ」 3年「健康に生きる」 「共に生きる」「卒業に向けて」</p> <p>【道徳科】  ○学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心地、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。 ○各教科等と密接な関連を図りながら、人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。</p> <p>【特別活動】  ○楽しく充実した学級活動の推進 →キャリア教育の意義を踏まえた生き方指導としての進路指導 ○一人一人を生かす生徒会活動の展開 →生徒のよさを認め、励まし、ほめる積極的生徒指導 ○生徒が主役の学校行事の創造 →自主的な活動の支援、生徒の成就感、満足感の醸成</p>		
改善の観点	I 指導内容・指導方法の工夫	II 教育課程の工夫・発展	III 学習評価活動の工夫	IV 家庭・地域社会との連携の工夫
取組の基本方針	基礎・基本の確実な定着を図り、それを活用する場を設定する。学習内容の系統性を図り、指導方法・形態を工夫する。	生徒の実態を把握しながら、系統的な指導計画の作成や教材の工夫・開発・準備等を行う。	生徒のよい点や達成状況を積極的評価することにより、一人一人の生徒を伸ばす。そのための評価方法や手立てを工夫する。	基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせることで、社会性の育成や自尊感情の向上を図る。
課題解決のための具体的な取組（場と方法）	○「授業の約束」の徹底 ○生徒の実態や単元の特性に応じた指導の工夫 ・少人数、T T指導、小集団学習 ○定期テストに対する取組 ・取組計画の作成と実践、補習、テスト直し、ノート作成等 ○言語活動の場の設定 ・スピーチの機会の設定等 ○基礎的学習内容の補充（夏期）	○年間指導計画の実践・工夫・見直しと作成 ○教材・教具の準備・補充 ○言語活動及び体験活動の充実 ○情報の活用や情報モラルの指導の工夫	○年間指導計画に基づいた評価規準の作成・見直し ○学習目標の明確化 ○授業における生徒の自己評価や相互評価を通して、自己評価能力や自尊感情の向上 ○基礎的内容（漢字、計算、英単語）の定着を図る小テストや定期テストの工夫	○家庭への啓発と評価の実施 ○適切な宿題の在り方（学習量、計画・継続性）の工夫と家庭学習の習慣化 ○家庭学習ノートの習慣化 ○P T Aと協力してのあいさつ運動の実施
関連する活動、行事、組織等	○教育支援担当訪問での公開授業 ○授業研究会への積極的な参加 ○授業を見合う週間の実施	○校内研修 ○課題研究推進委員会 ○教育課程編成委員会	○各種調査結果 ○定期テスト個票 ○通知表	○学校・学年だより、H P ○学校公開、授業参観、保護者会

## 保護者・地域の皆様へ

本校では、令和5年度から、『「自他を認め、思いを豊かに伝える生徒の育成～自己肯定感を高める教育実践を通して～』を主題として、「伝えるアウトプットの強化」、「表現力の育成」を通して、各教科で「できた、分かった授業の実践」、「場の設定の工夫」（発表方法、特別活動）を行うことで、これまで行ってきた研究の「深く学ぶこと」を土台として、伝えることを強化し、表現力の育成を通して、さらに学力の向上を目指していくために取り組んでまいります。

今後も、すべての教育活動を通じて生徒のよさを引き出し、成長をサポートし、知徳体のバランスを図りながら、人間力の向上に努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、引き続き本校へのご理解とご支援のほど、お願い申し上げます。